

小海高等学校生活指導係発行

与えられている権利は自分で守ろう

認められているにもかかわらず、ルールを守れないために自らその権利を放棄せざるをえなくしてはいませんか？



「授業中、携帯電話の教室持ち込み禁止」になってしまった1年生

繰り返し指導されても守りきれなかった携帯電話使用マナーが、このような形で学年全体に影響することになってしまった。車、バイク、インターネット等、便利なものを手にしたときには、同時に大変大きな責任をも背負っていることを忘れてはいけません。

今回の指導でも改善されない場合はどうなるのでしょうか？予想される展開は、全面的な使用禁止であったり、中学校時代のように学校へ持ってくることの禁止等ではないでしょうか？くれぐれも自分たちで自分たちの権利を奪われるような行為は行わないでください。

ところで、こういうことは携帯電話に限ったことでしょうか？

いいえ、違います。例えば、膝掛けの使用マナーはどうでしょうか？

この件についても、繰り返し指導しているにもかかわらず、守り切れていない状況が続いている。廊下で腰巻き代わりにしているだけでなく、膝掛けの下で携帯電話を使用しているなどということになると、ますます状況は深刻化してしまう。万一、膝掛けの使用が禁止されたらどうなるのだろうか？次のような事態が容易に想像される。寒くて体調を崩す生徒が続出することだ。そうになると、どうにかしてほしいとの声が、生徒だけではなく、保護者の皆さんからもあがってくるのが予想される。

その時にどんな解決策が出されるのだろうか？

例えば、スラックス着用義務化の流れができてしまうかもしれない。特に、2年後には女子生徒は全員スラックスを購入していることになるので、ありえない展開ではないはずだ。スラックス着用に抵抗を感じている人はこうしたことも予想しながらルール遵守を心掛けるべきだろう。バイク・中間着なども同様。諸先輩が残してくれた権利を享受するには、それに見合った努力が必要なのです。